

Boyo Special Science Program BSSP2017

テーマ：宇宙探査

東海大学付属市原望洋高等学校

～宇宙の構造を知り、 宇宙探査について考える～ 実施報告！

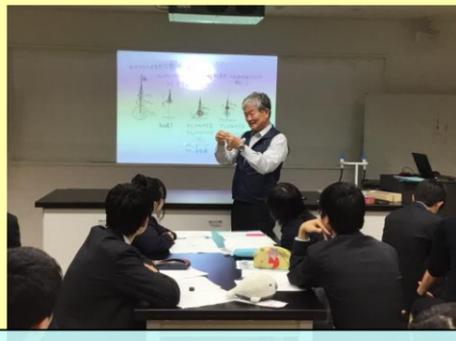
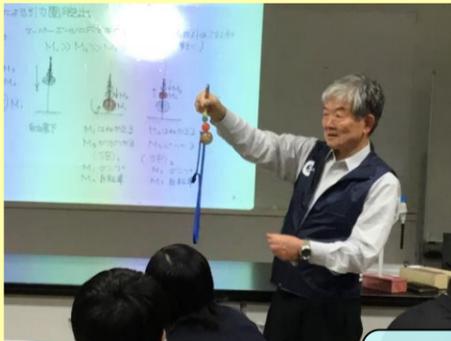
連携機関：千葉市科学館（きぼーる）
宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター

【1】第1回講座

11月10日（金）9時30分～15時30分 千葉市科学館（きぼーる）

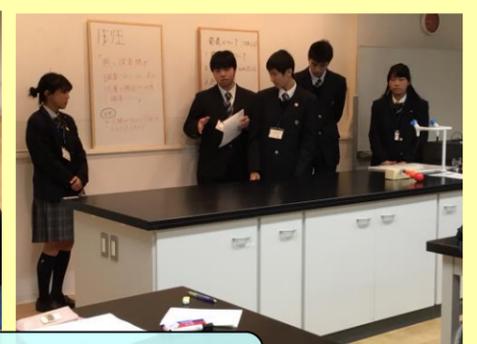
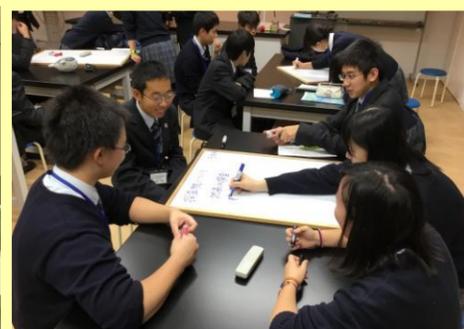
担当：千葉市科学館 館長 大高一雄氏
プラネタリウム担当 高木 右京氏

第一回講座では、千葉市科学館にてプラネタリウムを見学し、館長大高一雄氏によるスイングバイについての講義を受けました。午後は、太陽系のスケールを感じるために「千葉版太陽系ウォーク」行いました。きぼーる球体（プラネタリウム）を太陽とした場合、各惑星はどれくらい離れているかを、館外を実際に歩いて体感しました。その後グループディスカッションならびにプレゼンテーション実習を行いました。5つのグループに分かれ、「どんな探査機で何を調査したいか、それはなぜか」について、また千葉市科学館（きぼーる）での講義などの感想をまとめて発表しました。



スイングバイの講義の様子
実験は興味深かった！

太陽系ウォーク
惑星の距離を体感した！



プレゼンに対する講評

グループディスカッション、プレゼンテーション
初対面の人ばかりだったけど協力して頑張った！



千葉版太陽系ウォークの地図



お世話になった先生方と記念撮影

【2】第2回講座

11月22日（金）10時30分～16時30分 宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター

講師：JAXA 宇宙教育推進室（宇宙教育センター） 室町 篤 氏

第2回講座では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）にて宇宙研究を紹介する展示館、スペースドームを見学した後、講師の室町篤氏による講義を受けました。内容は、「コミュニケーション力を鍛える」というもので宇宙飛行士を選抜する試験を参考に開発した教材を使って、言葉のみで図形を伝え合い、宇宙飛行士にとってのコミュニケーション力の重要性を学びました。施設見学では、国際宇宙ステーションと交信している通信室や宇宙飛行士の試験で実際に使われる施設などを見学し、とても貴重な体験をしました。その後、グループディスカッションならびにプレゼンテーション実習をおこないました。5つのグループに分かれ、「宇宙飛行士として、ISSに滞在することになったら、どんなことをしたいか」について、また宇宙航空研究開発機構（JAXA）を見学した感想などもまとめて発表しました。

スペースドームで宇宙研究の歩みを見学



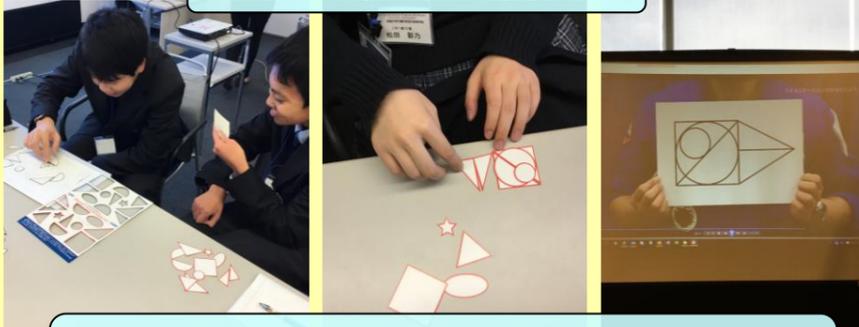
宇宙服レプリカで記念撮影！
人工衛星の実験施設「きぼう」はとても興味深かった

施設見学



宇宙服は細かい工夫が随所に！宇宙飛行士採用試験で実際に使われている閉鎖環境適応訓練設備を見た

室町篤氏による講義



お手本を見ながら言葉だけで図を説明し、
コミュニケーション力を鍛えた



グループディスカッション、プレゼンテーション



質問する機会もあり、室町さんの回答は
面白いものばかりだった



JAXA 筑波宇宙センター総合開発推進棟・H-II ロケット前にて

<感想>

- ・宇宙飛行士になるには頭のよさとか母国語以外の言葉が話せることが大事だと思っていたけど、いろいろな国の文化が混ざっている国際宇宙ステーションないでは、コミュニケーションがとても大事だと学びました。言葉だけで図形を伝えるのは、自分の中では伝えきっていても相手には伝わってなかったりして改めて伝える難しさを感じました。（3年女子）
- ・言葉だけで形を伝えるのはとても難しく、これから社会に出るのでわかりやすく相手に伝えることを頑張っていきたいです。今回の講座を受けて、普段体験できないような貴重な体験ばかりでとても面白かったです。JAXAで体験したことは忘れないと思うし、とてもよい経験になりました。また機会があったら、だれか誘って行きたいです。（1年男子）